

# 〔高等学校〕 文学的な文章の指導におけるICT活用について

(Google Workspace、現代文分野、教材「羅生門」)

## 1 導入 「ベン図」を活用してものの見方，考え方，感じ方を深める

「言語文化」 [思・判・表]

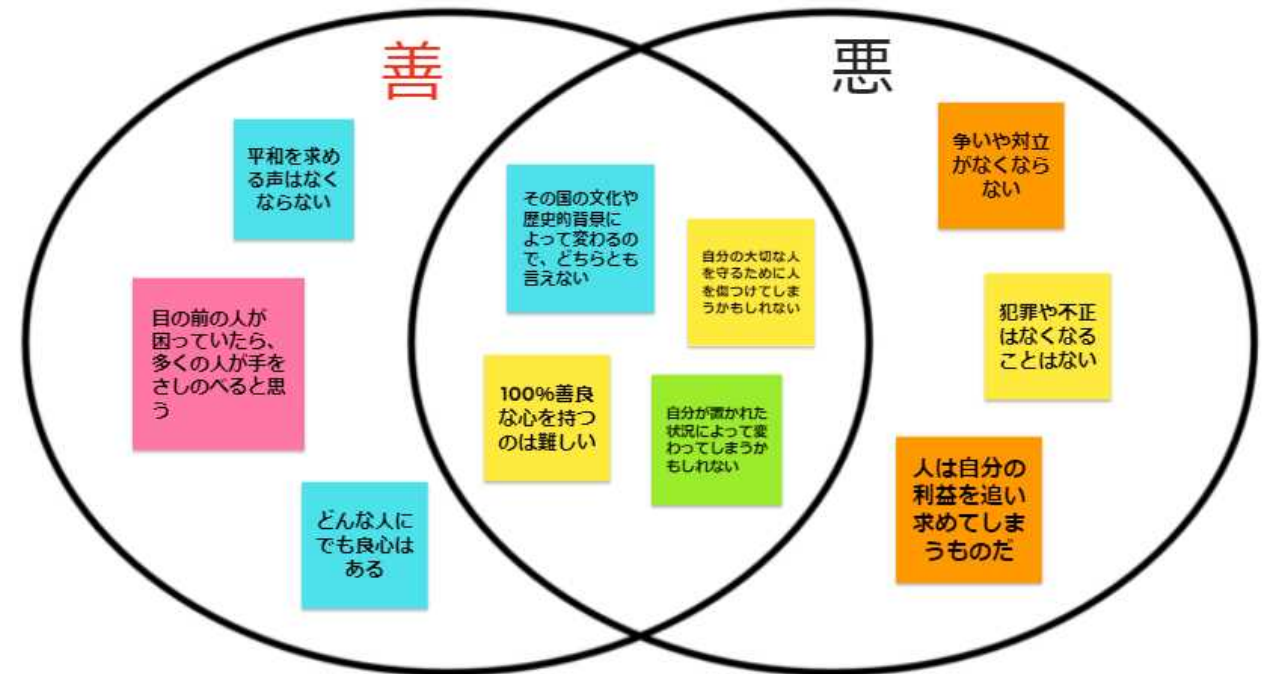
B 読むこと

(1) イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈すること。



意見を**整理**し，人間は「善」なのか「悪」なのか，容易には判断できないと気づかせることで，内容の解釈を深める。

人間は「善」か「悪」か？



## 2 展開 「Yチャート」を活用して場面の設定を分析する

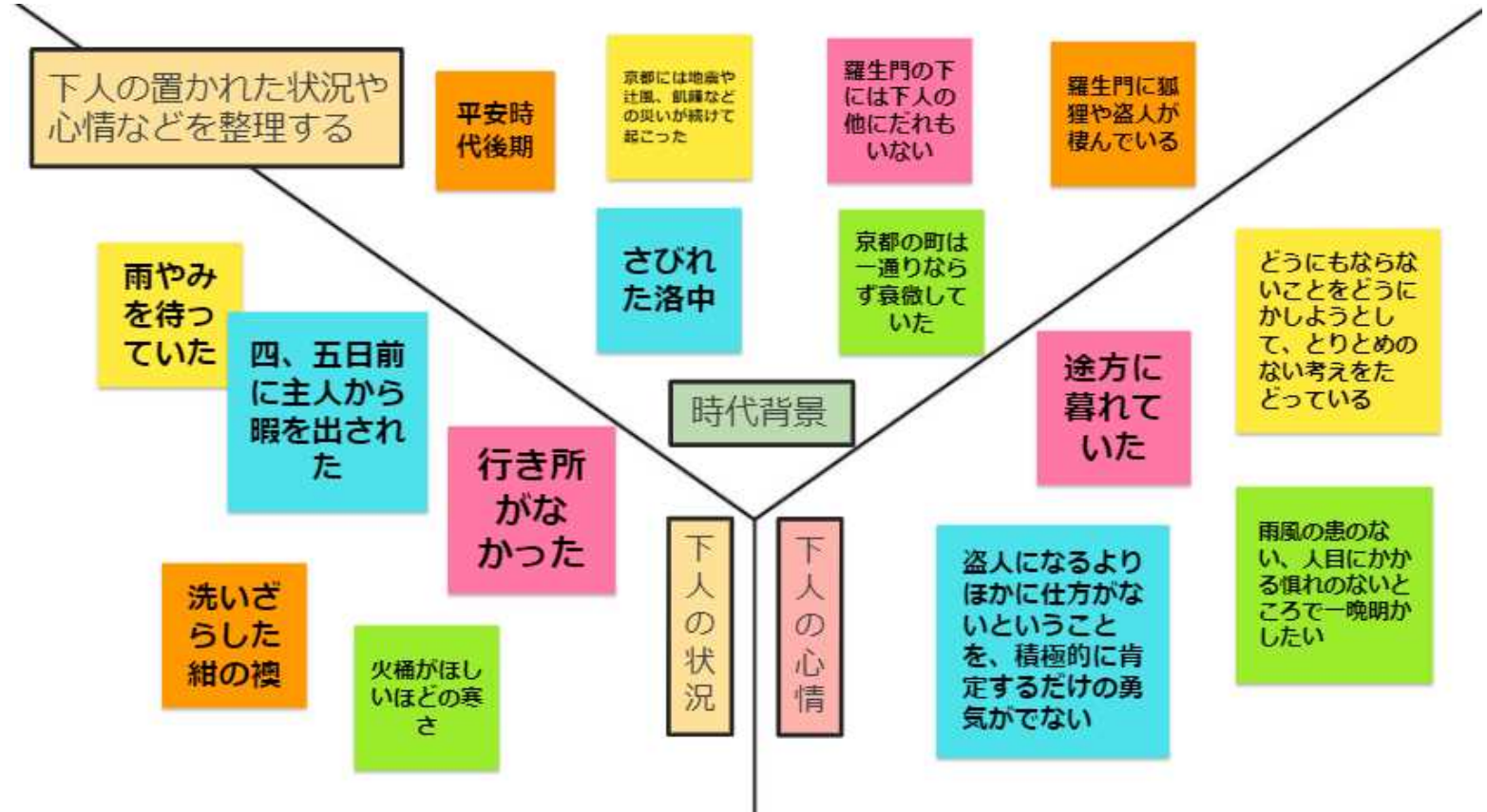
「言語文化」 [思・判・表]

B 読むこと

(1) エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。



時代背景や登場人物が置かれた状況を**整理**し、場面の設定を**分析**することで、その人物の言動や心情への理解を深める。



### 3 まとめ 文章の構成や表現の仕方を評価し，作者の意図を考える

「改稿前と改稿後を比較し，印象の違いについて話し合う

「言語文化」 [思・判・表]

B 読むこと

(1) ウ 文章の構成や展開，  
表現の仕方，表現の特色について  
評価すること。



改稿前と改稿後の文を**比較**し，  
印象の違いについて話し合う。  
話し合った内容をもとに作者が  
改稿した意図を考えることで，  
内容の解釈を深める。

【改稿前】	【改稿後】
下人は、既に、雨を冒して、京都の町へ強盗を働きに 急ぎつつあった。	下人の行方は、誰も知らない。
<p>下人が盗人 になったこと が明確に なる</p> <p>人間のエゴ イズムが強 調される</p>	<p>下人の未来 を読者に想 像させる効 果がある</p> <p>下人を突き 放した言い 方をしてい る</p> <p>余韻が 残る終 わり方</p> <p>人間の生き方や 善悪について、 読者の考えが広 がる</p>



話し合った内容をもとに作者が改稿した意図を考え，文章  
にまとめる